

# 2024年3月期 決算説明資料

---

2024年5月9日

**デンヨー株式会社**

証券コード：6517

東京証券取引所 プライム市場

# I. 2024年3月期 決算概要

# II. 2025年3月期 通期見通し

# I. 2024年3月期 決算概要

---

## ポイント

連結売上高、利益ともに前期に比べ増加。

(単位:百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	64,311	100%	73,140	100%	8,829	13.7%
営業利益	4,874	7.6%	7,089	9.7%	2,215	45.4%
経常利益	5,180	8.1%	7,378	10.1%	2,197	42.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,633	5.7%	5,095	7.0%	1,461	40.2%
設備投資	4,213		1,913		△ 2,300	△ 54.6%
減価償却費	1,266		1,228		△ 38	△ 3.0%
1株当り当期純利益	175.64円		246.83円		71.19円	40.5%
R O E	5.7%		7.3%			
1株当り年間配当金	50.0円		64.0円			

## 概況

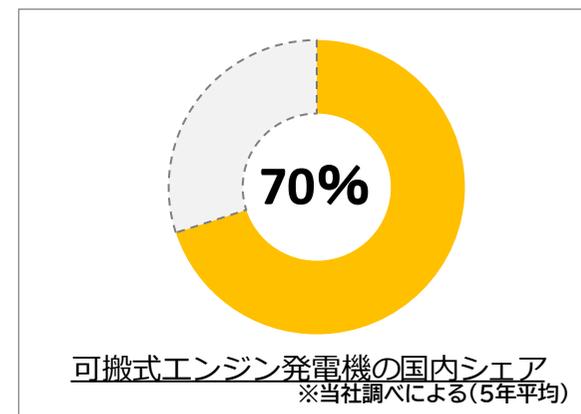
1. 発電機は 7,787百万円(14.5%)の増加。
2. 溶接機は 36百万円(0.8%)の増加。
3. コンプレッサは 33百万円(4.6%)の減少。

(単位:百万円)

		2023年3月期		2024年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		64,311	100%	73,140	100%	8,829	13.7%
製品別	発電機	53,700	83.5%	61,487	84.1%	7,787	14.5%
	溶接機	4,401	6.8%	4,437	6.1%	36	0.8%
	コンプレッサ	727	1.1%	693	0.9%	△ 33	△ 4.6%
	その他	5,482	8.5%	6,521	8.9%	1,038	18.9%

	2023年3月期	2024年3月期	前期比 増減率
発電機	53,700 <sup>百万円</sup>	61,487 <sup>百万円</sup>	14.5 <sup>%</sup>

- 国内は、可搬形の大型機を中心に増加。防災設備用の非常用発電機も堅調に推移。
- 海外は、アメリカ市場向けが増加し、アジア向けも堅調に推移。



静音発電機  
マーリエ



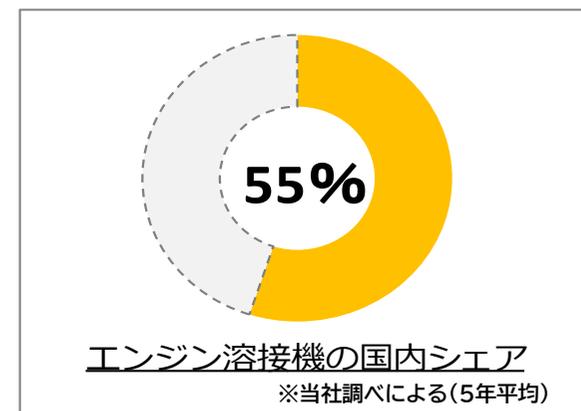
運転データ記録機  
能付発電機

## 1kVAから1100kVA までのエンジン発電機を製造

- 可搬形発電機  
建設現場、土木工事、災害復旧・復興などの動力源
- 非常用発電機(定置形)  
防災設備やオフィスなどのバックアップ電源
- 電源車など

	2023年3月期	2024年3月期	前期比 増減率
溶 接 機	4,401 <sup>百万円</sup>	4,437 <sup>百万円</sup>	0.8%

- 部品不足により一部製品の生産に支障があったが、TIG溶接機や海外向け大型機の出荷が堅調に推移。



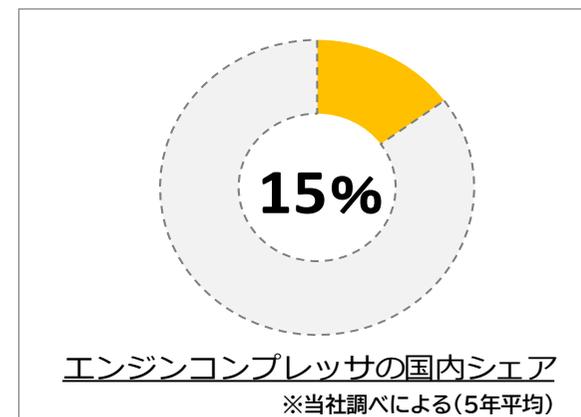
炭酸ガス溶接機

屋外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発  
軽量鉄骨溶接用の135Aから重量鉄骨溶接用の500Aエンジン溶接機、  
およびTIG溶接機、炭酸ガス溶接機など

- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨構造物の溶接
- 石油備蓄タンク、パイプラインなどの重要構造物の溶接

	2023年3月期	2024年3月期	前期比 増減率
コンプレッサ	727 <sup>百万円</sup>	693 <sup>百万円</sup>	△ 4.6%

- 国内向けエンジンコンプレッサが若干減少。



エンジンコンプレッサ



モータコンプレッサ

- 吐出空気量1.7<sup>m<sup>3</sup></sup>/minから45.3<sup>m<sup>3</sup></sup>/minまで製造
- 道路工事のはつり作業、地盤改良工事
  - 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
  - スキー場の人工降雪機用など

	2023年3月期	2024年3月期	前期比 増減率
その他	5,482 <sup>百万円</sup>	6,521 <sup>百万円</sup>	18.9%

- 建築需要を背景に高所作業車が増加。
- 製品に付随する部品売上も増加。

### その他の売上

- 高所作業車
- 負荷試験装置
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



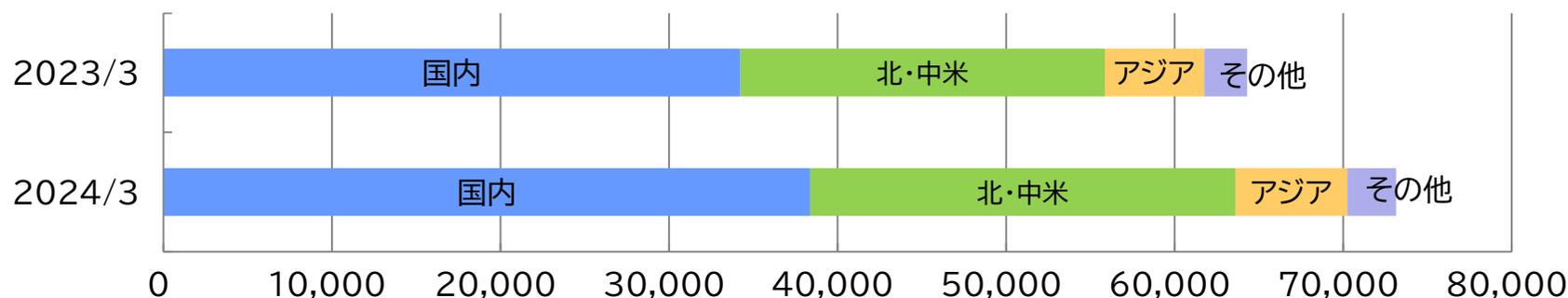
高所作業車



負荷試験装置

(単位:百万円)

		2023年3月期		2024年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		64,311	100%	73,140	100%	8,829	13.7%
国内売上高		34,244	53.2%	38,389	52.5%	4,145	12.1%
海外売上高		30,066	46.8%	34,750	47.5%	4,683	15.6%
地域別	アメリカ	21,617	33.6%	25,230	34.5%	3,613	16.7%
	アジア	5,902	9.2%	6,642	9.1%	740	12.5%
	その他	2,547	4.0%	2,877	3.9%	329	12.9%



## 営業利益増

主要部品の仕入価格上昇による影響があったが、売上高の大幅な増加などにより営業利益も増加。

(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	前期比 増減
営業利益	4,874	7,089	2,215
営業利益率	7.6%	9.7%	2.1ポイント

	2023年3月期	2024年3月期	前期比 増減
売上総利益率	21.2%	22.2%	1.0ポイント
売上高販管費比率	13.6%	12.5%	△ 1.1ポイント
売上高営業利益率	7.6%	9.7%	2.1ポイント

- 売上総利益率は、原価上昇分の一部を販売価格に反映した効果や比較的収益性の高い製品の増加もあり上昇。
- 売上高販管費比率は、人件費や固定費が増加したが、売上高の大幅な増加により低下。

## 概要

1. 流動資産 6,722百万円の増加は、主に現金及び預金、売上債権などの増加による。
2. 固定資産4,074百万円の増加は、主に投資有価証券の評価替えなどの増加による。
3. 流動負債 2,575百万円の増加は、主に仕入債務などの増加による。

(単位:百万円)

	2023年3月 期末	2024年3月 期末	前期末比 増減額
流 動 資 産	61,517	68,239	6,722
固 定 資 産	28,227	32,301	4,074
資 産 合 計	89,744	100,540	10,796
流 動 負 債	17,700	20,275	2,575
固 定 負 債	3,385	4,421	1,036
負 債 合 計	21,085	24,697	3,611
純 資 産 合 計	68,658	75,843	7,184
負 債 純 資 産 合 計	89,744	100,540	10,796

## 概要

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー4,176百万円は、主に税金等調整前当期純利益などの計上による。
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー△1,835百万円は、主に有形固定資産の取得による。
3. 現金及び現金同等物の残高は、1,698百万円増加。

(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,031	4,176
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,116	△ 1,835
I + II フリー・キャッシュ・フロー	△ 2,085	2,341
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	937	△ 819
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	119	177
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,027	1,698
VI 現金及び現金同等物の期末残高	22,331	24,029

## Ⅱ. 2025年3月期の見通し

---

## ポイント

- ・売上高は、740億円と予想。
- ・為替レートは、140円/ドルを想定。

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	73,140	100%	74,000	100%	860	1.2%
営業利益	7,089	9.7%	6,700	9.1%	△ 389	△ 5.5%
経常利益	7,378	10.1%	7,000	9.5%	△ 378	△ 5.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,095	7.0%	4,700	6.4%	△ 395	△ 7.8%
設備投資	1,913		7,050		5,137	268.5%
減価償却費	1,228		1,400		172	14.0%
1株当り当期純利益	246.83円		227.62円		△ 19.21円	
R O E	7.3%		*6.5%			
1株当り配当金(円)	64.0円		70.0円			

\*自己資本は前期末の金額で計算

## 概況

- 国内は、堅調な建設需要を背景に順調に推移するものと予想。
- 海外は、アメリカ市場向けは、過去2年間急激に増加した反動もあり、やや落ち着くものと予想。

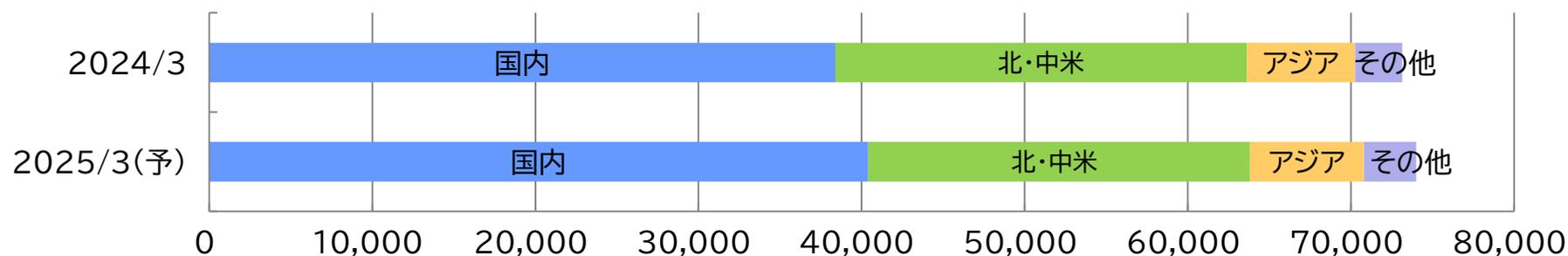
(単位:百万円)

		2024年3月期		2025年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		73,140	100%	74,000	100%	860	1.1%
製品別	発電機	61,487	84.1%	61,700	83.4%	213	0.3%
	溶接機	4,437	6.1%	4,900	6.6%	463	10.4%
	コンプレッサ	693	0.9%	700	0.9%	7	1.0%
	その他	6,521	8.9%	6,700	9.1%	179	2.7%

# 地域別売上高の見通し(連結)

(単位:百万円)

		2024年3月期		2025年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		73,140	100%	74,000	100%	860	1.2%
国内売上高		38,389	52.5%	40,400	54.6%	2,011	5.2%
海外売上高		34,750	47.5%	33,600	45.4%	△ 1,150	△ 3.3%
地域別	アメリカ	25,230	34.5%	23,400	31.6%	△ 1,830	△ 7.3%
	アジア	6,642	9.1%	7,000	9.5%	358	5.4%
	その他	2,877	3.9%	3,200	4.3%	323	11.2%



## 営業利益減

経費の増加を見込む。

(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期(予)	前期比
営業利益	7,089	6,700	△ 389
営業利益率	9.7%	9.1%	△ 0.6 ポイント

	2024年3月期	2025年3月期(予)	前期比増減
売上総利益率	22.2%	22.0%	△ 0.2 ポイント
売上高販管費比率	12.5%	13.0%	0.5 ポイント
売上高営業利益率	9.7%	9.1%	△ 0.6 ポイント

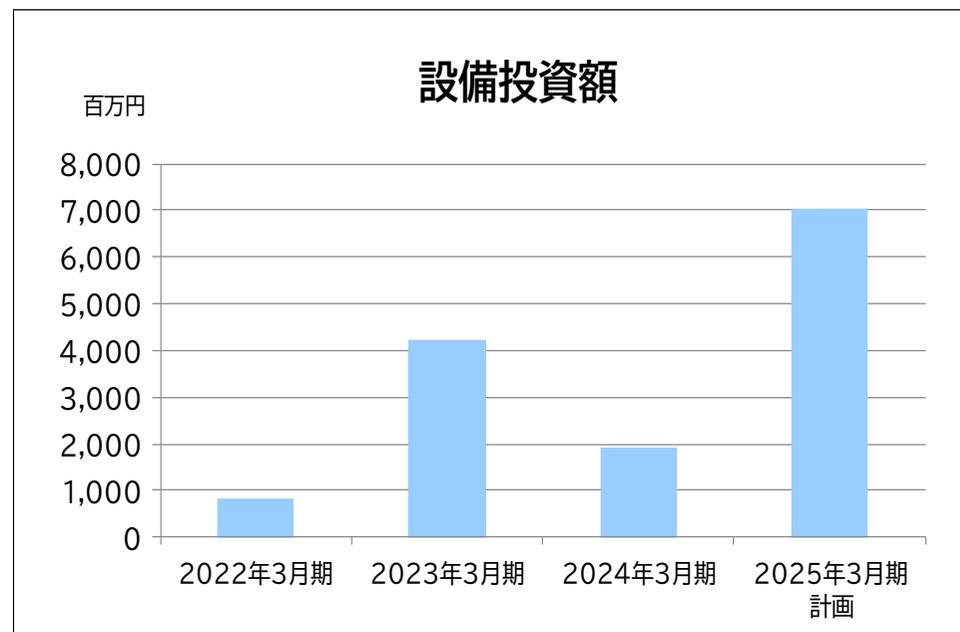
- 売上総利益率は、労務費や減価償却費の増加もあり、低下を見込む。
- 売上高販管費比率は、人件費や国内物流費などの増加による上昇を見込む。

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 計画
設備費	839	4,213	1,913	7,050
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 290</li> <li>・ニシハツ 50</li> <li>・アメリカ工場 20</li> <li>・ベトナム工場 20</li> <li>・その他 460</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 360</li> <li>・ニシハツ 2,500</li> <li>・アメリカ工場 20</li> <li>・ベトナム工場 70</li> <li>・その他 1,260</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 440</li> <li>・ニシハツ 190</li> <li>・アメリカ工場 170</li> <li>・ベトナム工場 20</li> <li>・その他 1,090</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 760</li> <li>・ニシハツ 4,160</li> <li>・アメリカ工場 100</li> <li>・ベトナム工場 200</li> <li>・その他 1,830</li> </ul>

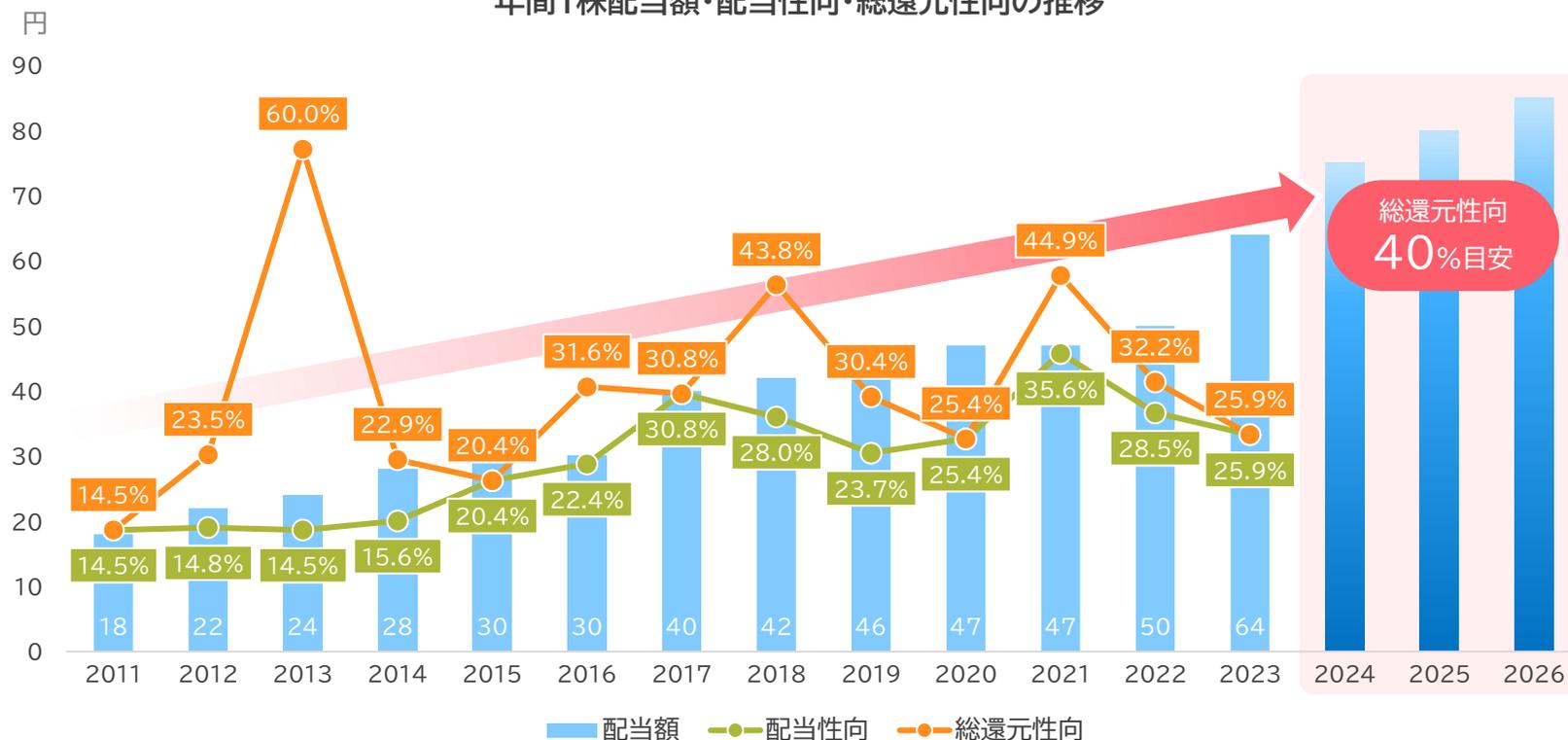


ニシハツ新本社工場 2024年度完成予定



- ・収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元をより充実していくことが重要と認識し、累進配当の継続を前提に業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施。
- ・2024年3月期の期末配当金については、1株当たり前回予想の29円から**11円増額の40円に増配**（年間64円）。
- ・2025年3月期から、業績に応じた利益還元の一層の充実をはかる姿勢をより明確にするため、方針を変更し、**累進配当の継続と機動的な自己株式の取得により、総還元性向40%を目安**に成果配分を実施。
- ・この方針の下、業績予想並びに総還元性向を勘案し、1株当たり**70円（中間30円、期末40円）**を予定。

年間1株配当額・配当性向・総還元性向の推移



この資料には、2024年5月9日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。

今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

当社のIRに関するお問い合わせ先

経営企画室 藤本・後藤  
電話:03-6861-1178  
FAX:03-6861-1185

# 参考資料

---

## エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワースーツのトップメーカー

沿革: 1948年7月2日	「日本電機溶接機材株式会社」として設立
1959年	我が国初の高速エンジン溶接機を開発、発売
1961年	エンジン発電機の生産、販売開始
1966年	防音型開発 デンヨー株式会社に社名変更
1983年	東証二部上場
2000年	東証一部上場
2022年	プライム市場に移行

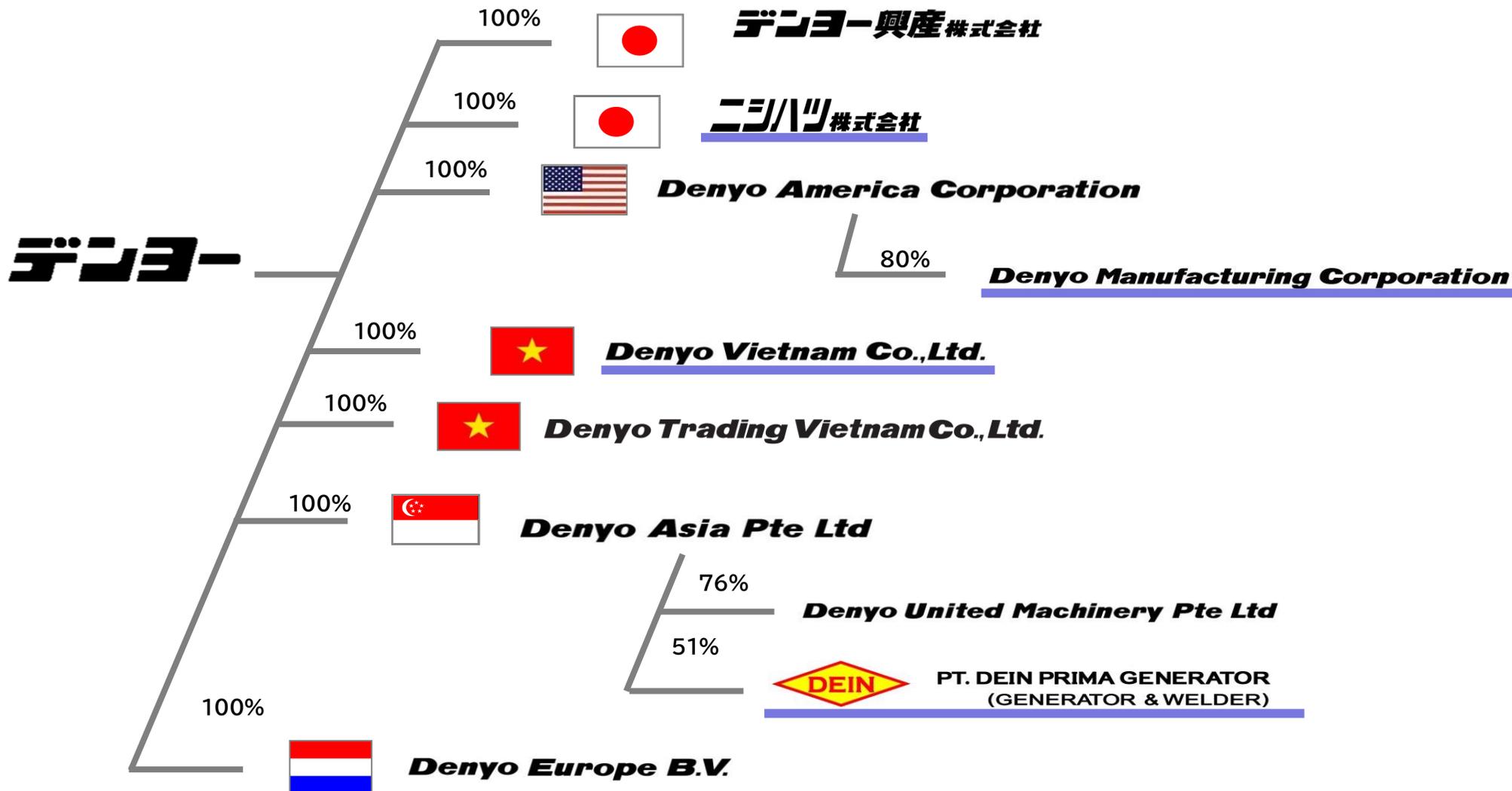
### 会社規模など(2024/3期・連結ベース)

(単位:百万円)

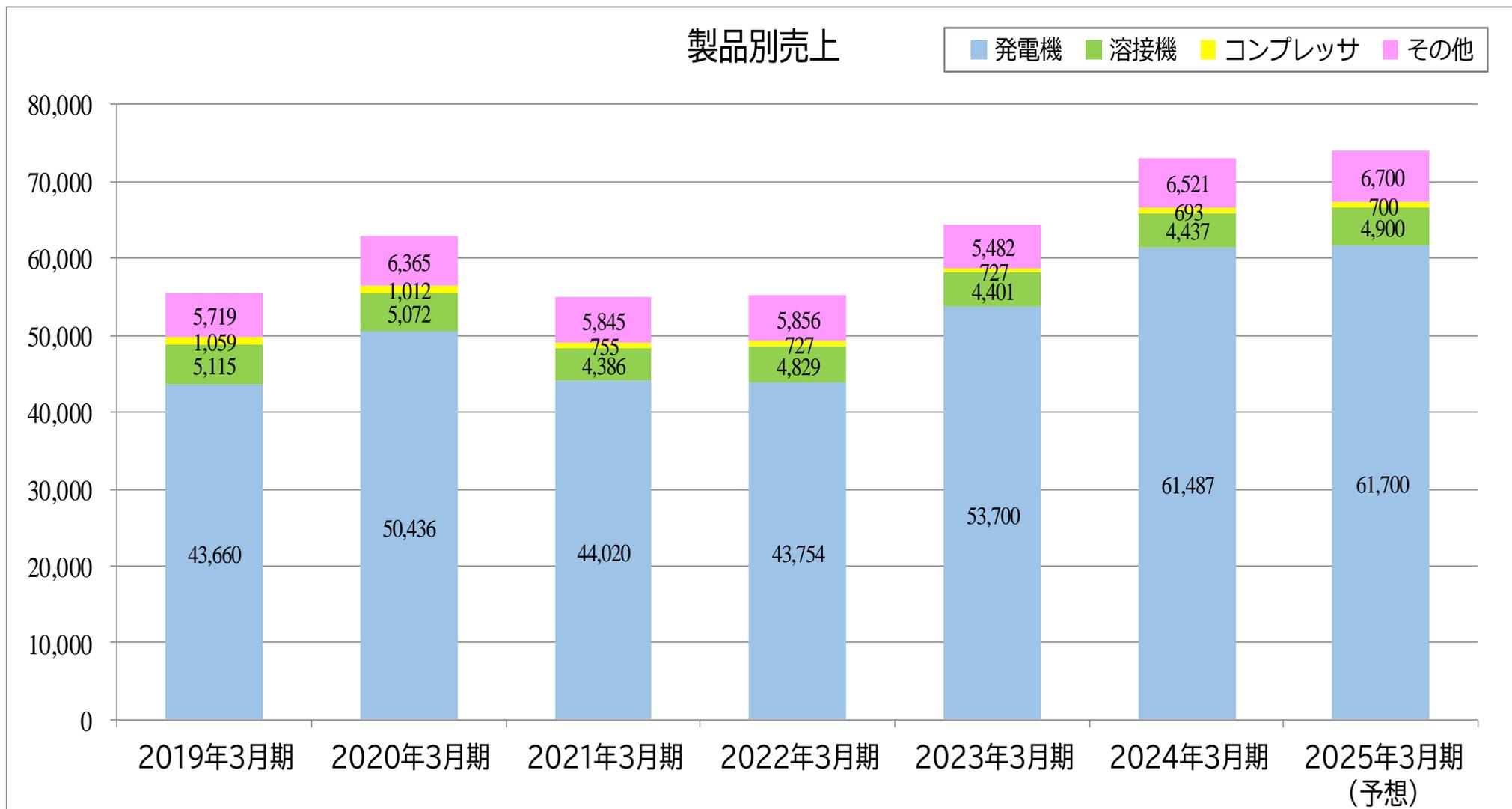
売上高	73,140
うち海外売上高	34,750
経常利益	7,378
親会社株主に帰属する当期純利益	5,095
総資産	100,540
純資産	75,843
時価総額(3/31時点)	53,125
従業員数	1,408人

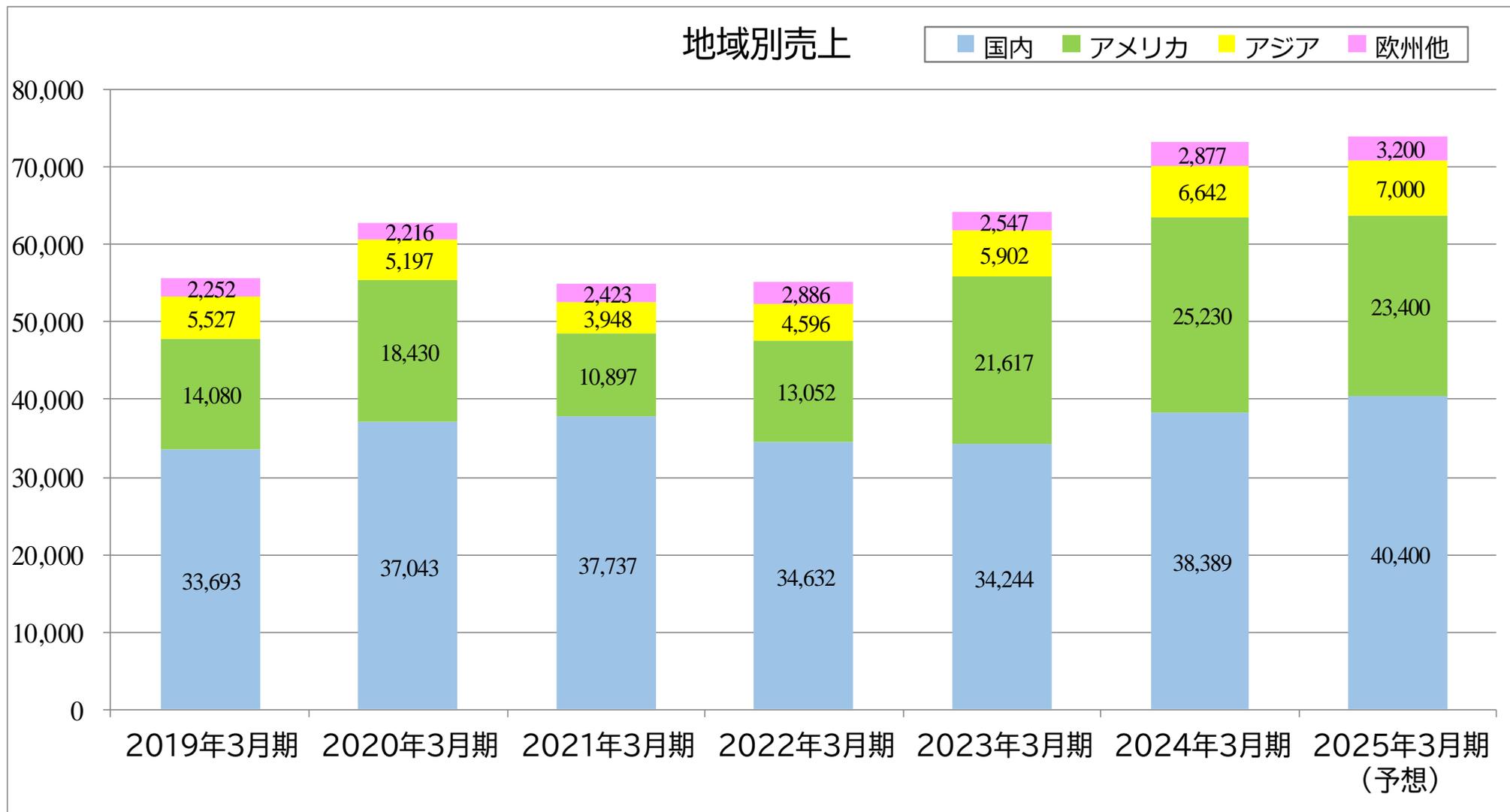


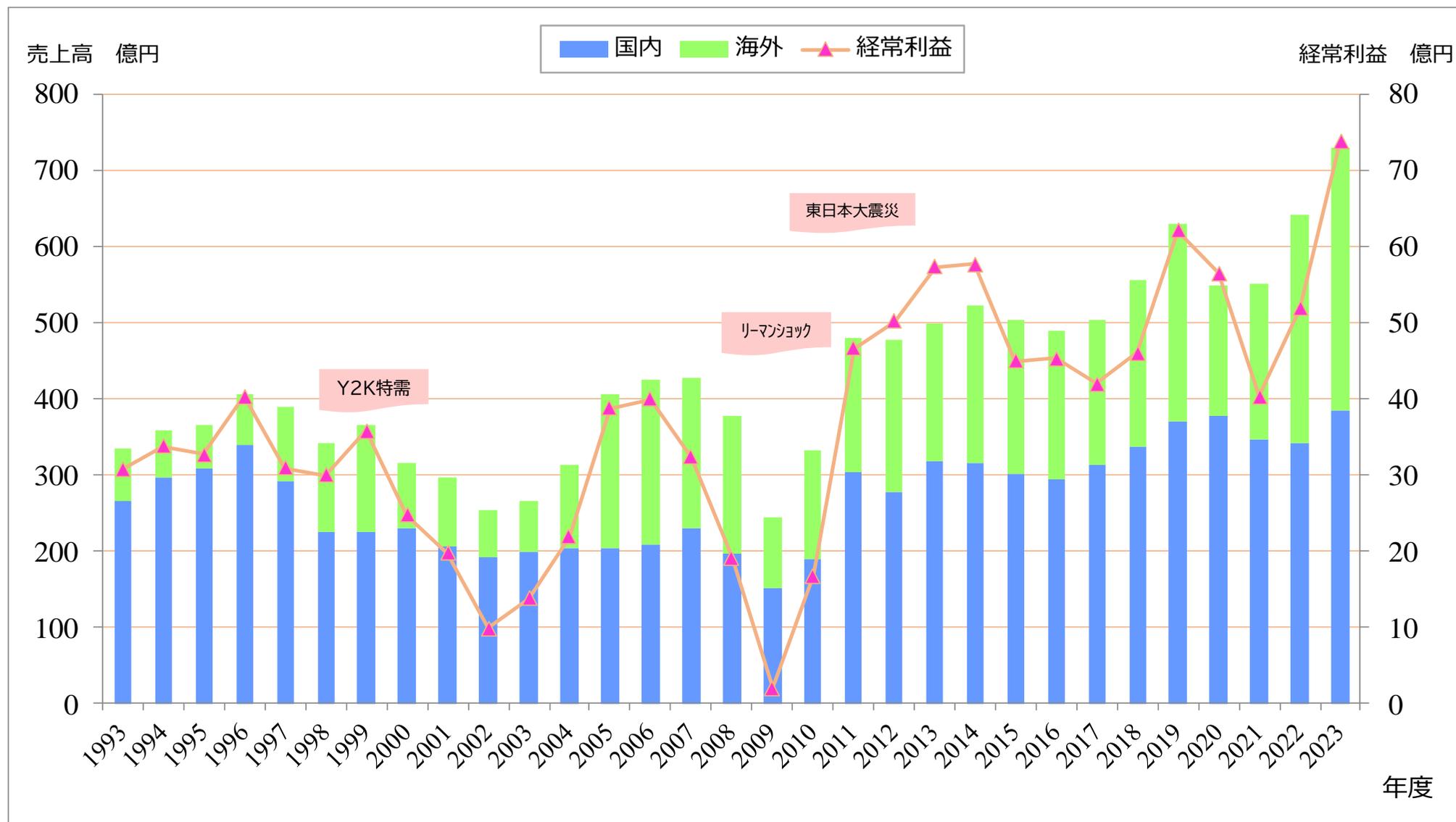
本社(日本橋堀留町)



\*1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販株」(出資比率15.7%)があります。  
 2.下線の引いてある会社は製造会社となります。







**Denyo**



本 社：〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5  
TEL:03(6861)1111 FAX:03(6861)1181  
ホームページ：<https://www.denyo.co.jp/>